**平成のあしあと あなたのあしおと**

**あの人と過ごした時間、あの場所を訪ねた記憶、忘れられない出来事。**

**あなたと「平成」の歴史を尋ねます。**

　「平成」の時代が幕を閉じ、「令和」の歴史が始まろうとしています。あなたの心に残っている「平成」の出来事は、どんなことですか。

　大崎市は、まさに「平成の大合併」で誕生したまち。旧1市6町で育まれた軌跡をしっかりと受け継ぎ、平成18年3月31日から新たな道を歩んできました。

　節目を迎えるいま、写真や年表、当時を良く知る人のインタビューなどを通じて、さまざまな角度から平成を振り返ってみました。

　当時の記憶をたどると、あなたの平成31年間と大崎と、どこかで思い出が重なるところはありませんか。

　さ細な思い出や忘れていた何か、を見つけるかもしれません。

**●統計でみる平成**

平成元年の1市6町と、合併後の平成18年、現在の大崎市を統計で比べてみました。

○人口

|  |  |
| --- | --- |
| 平成元年 | 136,299人 |
| 平成18年 | 138,904人 |
| 平成30年 | 130,955人 |

出典：大崎市統計書（各年12月末日現在）

※平成元年は日本人のみ、それ以外は外国人を含んだ人口

○世帯

|  |  |
| --- | --- |
| 平成元年 | 36,792世帯 |
| 平成18年 | 46,192世帯 |
| 平成30年 | 51,350世帯 |

出典：大崎市統計書（各年12月末日現在）

※平成元年は日本人のみ、それ以外は外国人を含んだ世帯

○出生

|  |  |
| --- | --- |
| 平成元年 | 1,379人 |
| 平成18年 | 1,212人 |
| 平成30年 | 897人 |

出典：大崎市統計書、宮城県統計年鑑

※平成元年は9月末日現在、それ以外は12月末日現在、平成30年のみ外国人を含む

○死亡

|  |  |
| --- | --- |
| 平成元年 | 1,001人 |
| 平成18年 | 1,418人 |
| 平成30年 | 1,638人 |

出典：大崎市統計書、宮城県統計年鑑

※平成元年は9月末日現在、それ以外は12月末日現在、平成30年のみ外国人を含む

○交通事故

|  |  |
| --- | --- |
| 平成元年 | 521件 |
| 平成18年 | 712件 |
| 平成30年 | 362件 |

出典：大崎市統計書、宮城県統計年鑑（各年12月末日現在）

○火災発生件数

|  |  |
| --- | --- |
| 平成元年 | 49件 |
| 平成18年 | 49件 |
| 平成30年 | 43件 |

出典：大崎市統計書、宮城県統計年鑑（各年12月末日現在）

写真1：平成12年の旧古川市役所（現 大崎市役所本庁舎）周辺

写真1：平成元年4月の亜炭記念館開館セレモニー

写真3：本州で初めてオープンした加護坊パークゴルフ場（写真は平成30年4月撮影）

写真4：平成3年5月に国の伝統的工芸品に指定された鳴子漆器。しっとりとした塗りの美しさと耐久性に優れ、古くから愛され続けています

**60年ぶりのシナイモツゴ発見**

**豊かな自然の再生と活用**

**シナイモツゴ郷の会**

**高橋 清孝さん**

　シナイモツゴは、1916年に品井沼で初めて採集され、1931年に新種登録された魚です。

　世間を驚かせたのは平成5年（1993年）。旧品井沼の水源地の一つ「桂沢ため池」で約60年ぶりに再発見したことでした。シナイモツゴは1930年代から正式な観測

記録が残っておらず、絶滅がささやかれていたのです。

　今では、県内4つの小学校でシナイモツゴを卵から育てて放流する「里親小学校」、シナイモツゴが住むため池の水で米を栽培する「シナイモツゴの米」など、自然教育や環境保護活動、農業など多方面に活動が広がっています。

　平成12年（2000年）頃からは、ブラックバスが増え、ため池の環境が脅かされる危機もありましたが、これまで住民を主体とした地域ぐるみの取り組みで、ブラックバスを一掃することに成功しました。全国的な例も少なく、期待以上の効果が得られ、今はアメリカザリガニ対策に取り組んでいます。

　豊かな生態系と人との関わりは、世界農業遺産「大崎耕土」の宝の一つ。これからも守っていきたいです。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| **年** | **主なできごと** | |
| 平成元年（１９８９年） | 1月  4月  9月  11月  12月 | 昭和天皇崩御・皇太子明仁天皇御即位  平成に改元  消費税3％開始  亜炭記念館開館  松山ふるさと歴史館開館  ベルリンの壁が崩壊  アークヒルズ台町完成 |
| 平成２年（１９９０年） | 2月  3月  4月  9月  10月 | おくのほそ道「出羽仙台街道中山越」文化財保護法史跡指定  横浜市港南区「ひまわり交流の証」調印  古川第四小学校開校  三本木保育所開所  歴史の道「陸奥上街道」国の史跡指定  米国オハイオ州ミドルタウン市と姉妹都市提携  東西ドイツ統一 |
| 平成３年（１９９１年） | 1月  4月  5月  6月  9月  10月 | 湾岸戦争ぼっ発  スコーレハウス落成  下伊場野小学校開校、青少年交流館開館  鳴子漆器が国の伝統的工芸品に指定  鳴子温泉駅「ナイス」着工  市役所東庁舎完成  大阪府田尻町と友好都市提携 |
| 平成４年  （１９９２年） | 4月  9月  10月  3月 | 加護坊パークゴルフ場オープン  学校週5日制導入  山形県遊佐町との兄弟町盟約締結  JR鹿島台駅開業１００周年 |
| 平成５年  （１９９３年） | 6月  9月  11月 | 化女沼古代の里オープン  桂沢でシナイモツゴが発見される  戦後最低を記録した大冷害（県北部作況指数33） |
| 平成６年  （１９９４年） | 2月  7月 | 出土文化財管理センター落成  市立病院救急医療センター業務開始 |
| 平成７年  （１９９５年） | 1月  3月  7月 | 吉野作造記念館開館  阪神・淡路大震災（M７・３）が発生  酒ミュージアム・華の蔵完成  地下鉄サリン事件発生  市民プール「アクアパル」オープン  二線堤・国道３４６号線鹿島台バイパス起工 |
| 平成８年  （１９９６年） | 3月  4月  8月 | 有備館駅開業記念式典  統合岩出山中学校開校  真山地域づくり・池月地域づくりセンター開所  市民ギャラリー「緒絶の館」オープン |
| 平成９年（１９９７年） | 3月  4月  5月  5月  6月  7月 | 「内川」「学問の道」整備事業完工式  古川第五小学校開校  保健医療福祉総合施設「スキップセンター」開所  消費税が3％から5％に  天皇皇后両陛下が吉野作造記念館をご視察  リサイクルデザイン工房オープン  古川市で人口7万人達成  JR松山町駅前マリス分譲開始 |
| 平成１０年（１９９８年） | 2月  4月  5月  6月  7月  10月 | 長野オリンピックが開催される  有備館の森公園オープン  保健福祉プラザ（fプラザ）オープン  米国ダブリン市と姉妹都市締結  台東区と災害時における相互援助協定締結  鳴子・早稲田桟敷湯オープン  江合川あったか河川公園オープン  保健福祉センター（さんさん館）落成 |
| 平成１１年  （１９９９年） | 2月  3月 | 町立鳴子温泉病院開院  愛媛県宇和島市と姉妹都市盟約締結調印式  鹿島台瑞・華・翠交流施設（鎌田記念ホール）落成 |
| 平成１２年  （２０００年） | 4月  8月  10月 | 三本木町総合庁舎開所  感覚ミュージアムオープン  北海道当別町と姉妹都市盟約締結調印式 |
| 平成１３年  （２００１年） | 4月  5月  7月  9月 | 道の駅三本木「やまなみ」オープン  あ・ら・伊達な道の駅グランドオープン  古川市立病院南病棟オープン  新世紀・みやぎ国体  米国で同時多発テロが発生 |
| 平成１４年  （２００２年） | 3月  4月  6月  11月 | 第56回国民体育大会軟式野球協議会開催記念タイムカプセル埋設  完全学校週5日制が開始  祇劫寺本堂が県指定有形文化財に指定される  三本木防災センター開所 |
| 平成１５年  （２００３年） | 5月  6月  7月 | 三陸南地震（Ｍ7・1）が発生  ひまわりタウン分譲開始  戦後二番目の深刻な不作（作況指数69）  宮城県北部連続地震（Ｍ6・4）が発生  大崎地方合併協議会設立 |
| 平成１６年  （２００４年） | 6月  8月  9月  10月 | 鳴子温泉ツーリズム特区が内閣府から認定される  1市6町合併協定書へ調印  古川市議会臨時会において合併議案否決・市長辞任  新潟中越地震（M6・８）が発生 |
| 平成１７年  （２００５年） | 1月  2月  3月  4月  5月  6月  8月  11月 | 1市6町合併協定書（変更）へ調印  子育てわくわくランド事業開始  鹿島台庁舎災害復旧建設工事落成  子育て支援総合施設「すまいる園」落成  1市6町の合併が決定  温泉休憩施設「加護坊温泉さくらの湯」開館  愛知万博が開催される  「しんとろの湯」オープン  松山町役場庁舎耐震改修工事着工  蕪栗沼・周辺水田がラムサール条約湿地に登録される |
| 平成１８年  （２００６年） | 3月 | 「大崎市」誕生 |
| 平成１８年  （２００６年） | 4月  11月 | 広報おおさき第1号を発行  古川南中学校を新設開校  川渡・鬼首・鳴子中学校3校を統合  大崎市民憲章を制定 |
| 平成１９年  （２００７年） | 6月  7月  12月 | 鳴子温泉郷が青春18きっぷで行く温泉番付で東の横綱に認定される  新潟中越沖地震（Ｍ6・8）が発生  大崎市総合計画を策定 |
| 平成２０年  （２００８年） | 4月  6月  10月 | 三本木子育て支援総合施設ひまわり園を開園  岩手・宮城内陸地震（Ｍ7・2）が発生  大崎口腔保健センターを開設  化女沼がラムサール条約湿地に登録される |
| 平成２１年  （２００９年） | 9月 | 東北自動車道 三本木スマートインターチェンジが開通 |
| 平成２２年  （２０１０年） | 4月 | 鹿島台子育て支援総合施設なかよし園を開園  市民課の日曜窓口業務を開始 |
| 平成２３年  （２０１１年） | 3月  6月  7月  8月 | 東日本大震災（Ｍ9・0）が発生  おおさき宝大使に第69代横綱「白鵬 翔」が就任  地上アナログ放送が終了、地上デジタル放送開始  第93回全国高等学校野球選手権大会に古川工業高等学校が出場 |
| 平成２４年  （２０１２年） | 1月  8月 | 市内で1年間の交通死亡事故ゼロを達成  コンビニで住民票などの交付を開始（県内初） |
| 平成２５年  （２０１３年） | 2月  4月 | 大崎市総合計画【改訂版】を策定  大崎市イメージキャラクター「パタ崎さん」が誕生 |
| 平成２６年  （２０１４年） | 3月4月  7月  9月  12月 | 新品種米「東北194号」の愛称を「ささ結」と命名  大崎市話し合う協働のまちづくり条例を施行  中山小学校と鳴子小学校を統合  消費税が5％から8％に  大崎市民病院本院を古川地域穂波地区に移転  大崎市古川カントリーエレベーターを設置  東北自動車道 長者原スマートインターチェンジが24時間運用を開始 |
| 平成２７年  （２０１５年） | 1月  3月  4月  9月  11月 | あ・ら・伊達な道の駅が重点「道の駅」に選定  旧有備館及び庭園主屋・附属屋等復旧工事が完了  大崎市夜間急患センターを開設  平成27年9月関東・東北豪雨が発生  国道108号花渕山バイパスが開通 |
| 平成２８年  （２０１６年） | 3月  3月  4月7月  8月  9月  11月 | 古川松山線・新「志田橋」が開通  鹿島台第二小学校が閉校  松山子育て支援総合施設「あおぞら園」を開園  熊本地震（Ｍ7・3）が発生  大崎市誕生10周年記念・NHKのど自慢を開催  大崎市誕生10周年記念・夏巡業 大相撲大崎場所  大崎市誕生10周年記念・出張なんでも鑑定団in大崎を開催  鳴子ダムが選奨土木遺産に認定される  大崎市誕生10周年記念式典を開催  内川が世界かんがい施設遺産に登録される |
| 平成２９年  （２０１７年） | 3月  5月  7月  11月  12月 | 第2次大崎市総合計画を策定  豊饒の大地「大崎耕土」が日本農業遺産に認定される  「木造千手観音坐像」が国の重要文化財に指定される  新・大崎市図書館（来楽里ホール）が開館  JR陸羽東線開通100周年  豊饒の大地「大崎耕土」が世界農業遺産に認定公表される |
| 平成３０年  （２０１８年） | 4月  8月  9月 | 豊饒の大地「大崎耕土」に世界農業遺産認定証授与式（イタリア ローマ・FAO本部）  岩出山・西大崎・上野目・池月・真山小学校を統合し新・岩出山小学校が開校  岩出山凍り豆腐がGI（地理的表示）に登録される  北海道地震（Ｍ6・7）が発生 |
| 令和元年・  平成３１年  （２０１９年） | 3月  4月 | 新・大崎地域広域行政事務組合消防本部庁舎が完成  新元号が発表 |
| 5月 | 「平成」から「令和」へ |

**●新世紀・みやぎ国体を振り返る**

**日本一日本一を目指した平成**

**新時代へ引き継ぐ 真の勝負強さ**

**古川学園**

**高等学校教諭・女子バレーボール部コーチ**

**瀬戸 恵美子さん**

　私が高校3年生だった平成13年9月、新世紀・みやぎ国体の女子バレーボール競技が古川で開催されました。

　国分秀男監督（当時）の指導のもと日本一を目指し、1年生（平成11年）の時に高校3冠（春高・インターハイ・国体）を果たし、平成13年の新世紀・みやぎ国体では第3位に入賞しました。

　私は現在、バレーとともに青春時代を過ごした古川学園高等学校で、

後進の指導にあたっています。高校時代に学んだのは「普段の生活が勝負の最後に運を引き寄せること」。練習を頑張るだけではなく、学校や寮生活でもきちんとした行動と心がけが大切であるということです。指導者の立場になり、あらためてその大切さが身に染みています。

　昔も今も、目指すところは日本一。厳しい勝負所で活躍できる強い選手を育てていきたいです。厳しい練習の辛さを乗り越えてこそ、味わえる喜びと充実感を生徒に実感してもらいたいですね。

**●時代とともに広がる子育て支援**

**ファミサポ会員が支える 地域の子育て**

**ファミリーサポートセンター事業「まかせて会員」**

**村上 つぎ子さん（写真右）**

　　ファミリーサポートセンター事業（ファミサポ）に携わって、約13年。当時、自分の孫の面倒を見ていたとき、共働きなどで子育てに困っている人の手助けをしたい、と思いファミサポ「まかせて会員」に登録しました。

　これまで、自宅で毎日のように学校帰りの児童を預かったり、週に1回、児童館から習い事の教室へ送迎したりと、さまざまなお手伝いをしてきました。

　共働きが増えたり、核家族化が進んだ今、ファミサポはとても便利な支援事業だと思います。私にとっても、家族のように、地域の子どもと過ごした時間はかけがえのないものです。

写真5：米国ダブリン市と旧三本木町の姉妹都市締結の様子

写真6：平成9年7月松山町駅前マリス分譲開始当時

写真7：鳴子・早稲田桟敷湯オープンの様子

写真8：新世紀・みやぎ国体を記念して埋設されたタイムカプセル（2021年11月開封予定）

写真9：平成17年にラムサール条約湿地に登録された蕪栗沼・周辺水田にねぐら入りするマガン

写真10：宮城北部連続地震で甚大な被害を受けた旧鹿島台町役場　写真⑪：1市6町合併協定書調印の様子

**●東日本大震災の経験を教訓に**

**万が一を救う防災訓練 日頃の意識が命を守る**

**大崎市消防団団長　菅原 董悦さん**

　8年前の3月11日、あの大きな揺れは忘れることができません。

　揺れが収まってまもなく、消防団員として大崎市役所を訪れると、被害の全容がまだ見えず、とにかくマンパワーが必要な状態だったのを覚えています。混乱が続く中、あらかじめ決めていた役割分担に従って、地域一丸で連絡・調整を密に行い、危険個所の見回りや避難所運営に追われました。

　振り返ってみると、あの混乱の中、消防団として活動できたのは、日頃の訓練があってこそだと思います。想像できないような災害のとき、正しい行動の判断は、なかなか瞬時に出来るものではありません。

　平成は災害が多い時代だったからこそ、「自分の身は自分で守る」知識を、防災訓練などで高めていたいですね。

**●伝統をつなぐカタチを尋ねる**

**オリジナルグッズでファンの心をつかむ**

**鳴子こけしの新しい流れ**

**こけし工人・ユーモア店長　岡崎 斉一さん 律子さん**

　鳴子温泉への観光客は、昔と変わってきています。

　以前は、大型バスでの団体旅行者が多くいましたが、5・6年くらい前からは客層が変わり、「こけ女」ブームを実感するようになりました。若い女性は、油とり紙や鳴子こけしクリップなど、こけしの絵柄が入った小物に興味を示しているようです。

　鳴子こけしを求める人もいますが、「こけし工人 岡崎斉一が描いたこけし」の顔や絵が入った小物がほしいというファンがいます。工人によって異なる表情や模様の違いを、小物でも楽しむようになったのも、時代の変化かもしれませんね。伝統は守りながら、この店にしかないオリジナルの作品を提供したいと思います。

写真12：東日本大震災の被害の様子

写真13：イメージキャラクター「パタ崎さん」

写真14：平成18年4月広報おおさき第1号発行

写真15：新・大崎市民病院本院　写真⑯：新ブランド米『ささ結』

写真17：平成28年には大崎市誕生10周年を記念し、花・木・鳥と市民歌を制定しました

写真18：平成30年4月にイタリア ローマでの世界農業遺産認定証授与式に出席した伊藤大崎市長

**●「令和」と進む大崎市**

　新元号の新しい時代。大崎市では、「アクションプラン実践元年」として、大崎耕土の資源を「守るために生かす」取り組みを進めます。

　また、市役所本庁舎の建設や田尻・鳴子総合支所の建設などの整備事業を着実に進め、「宝の都（くに）・大崎～ずっとおおさき・いつかはおおさき～」の実現を目指していきます。